



2001年10月04日

フォルクスワーゲンの2001年度第3四半期登録台数結果 同社及び輸入車史上最高を記録

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市)がまとめた登録台数によると、フォルクスワーゲン ブランドの2001年度第3四半期(1月~9月)の登録台数累計が47,356台(対前年比 + 3,235台、7%増)に達し、同社及び輸入車史上最高記録を更新しました。従来の第3四半期における最高台数は、2000年にフォルクスワーゲンが記録した44,121台でした。

また、9月単月の台数は5,223台と、フォルクスワーゲンとしては、1996年(5,757台)、2000年(5,733台)に次ぐ高い水準を維持しております。

2001年度第3四半期において史上最高の登録台数を記録した原動力としては、現在の主力車種であるゴルフシリーズや、ニュービートル、ポロの好調に加え、新規ユーザーの獲得を目的に本年7月に国内への導入を開始したルポが、年内の販売目標台数であった1,500台を9月中にはほぼ完売するなど、好調な滑り出しを果たした事が挙げられます。

また、新車投入以外の要因としては、昨年11月から開始した一連のブランドキャンペーンや、今年1月よりスタートしたフォルクスワーゲン専売店ネットワークによるブランドイメージの向上、顧客満足度を高める新車保証プログラムの延長制度の導入などが挙げられます。さらに、先月行われました輸入車最大規模のユーザーイベント“VOLKSWAGEN Fest 2001”に代表される、フォルクスワーゲン オーナーのブランドロイヤリティの向上を図った数々のイベントも記録に大きく貢献していると考えております。

フォルクスワーゲンでは、今秋にニューパサートを投入することにより、輸入車年間登録台数NO.1を堅持していきます。